

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・



お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter No.17. 2013. 7. 10



歯科医療の近未来とつまようじ法

医) ファミリー会 理事長

永山 正人

最近、週刊ダイヤモンドからは「もうダメさ
れない歯医者 の裏・特集」、ZAITEN からは、
「歯科医を襲う倒産ラッシュの悪夢」等、「イン
プラントの使い回し」に関するマスコミ報道
とも合わせると、いわゆるデンタルバッシング
が大流行の時代になってきたといえる。この背
景には、歯科医療に対する患者、つまり国民の
不満が少なからず存在しているからである。つ
まり、患者が求めている歯科医療が提供でき
ていない事に起因する。

これは、患者さんが、昔とは比べものになら
ないほど情報を持つようになり、また、患者と
しての権利意識も高くなってきていることも
原因と思われる。

同時に、より豊かな快適な生活を求めるよう
になり、歯科医療に対する要望も多様化、高度
化して来ている結果と解釈できる。これらの社
会の変化、患者意識の変化（ニーズ）に歯科医
師が対応しきれていないことと、良質の歯科医
療を提供するための基礎となる経営の健全化
が確保されていないからではないかと思われ
る。平成 23 年 3 月に北海道歯科医師会会員に
平成 19 年、20 年、21 年と 3 年間の収支差額の
動向に関する調査をしたことがある。この結果、
3 年間継続的に増加したという歯科医療機関は
約 12%、3 年間変化無しが約 22%、減少したが
64%であった。

なんと、約 6 割以上の歯科医療機関は、経年
的に医業収益（売上）、収支差額が減少してい
るとの結果が示されていた。この経営的悪化が、
マスコミで騒がれている内容の大きな要因に
なっているのではないだろうか。また、この原
因は歯科医師のモラルの低下が原因だという
人もいるが、私はそれが直接的な原因とは思っ
ていない。しかし、このような報道が、歯科大
学（大学歯学部）の受験の抑制になり、歯学部
入学者の定員割れにも繋がってくる。その事
により、益々歯科医師の能力の低下が起こり、
それが又デンタルバッシングの材料になりかね
ない。

お隣の韓国では、若者がなりたい職業の第 1
位に歯科医師がランクされている。同じ職業で
あるはずなのに、国により大きな違いが出て
いるのは、やはりその職業に対する経済的裏付け
である。したがって、日本においても歯科医師
がある程度の生活が出来るようになれば、韓国
と同じまでとは言わないまでも、若者が憧れる
職業になるものと期待できる。では、経営の健
全化、安定化はどのようにしたらよいのかとい
う事になる。そこで、今後社会がどのように変
化するかを考えてみたい。2005 年に 75 歳以上
の人口が 9%（1100 万人）だったものが、2025
年には、団塊の世代が 75 歳に突入り、2030 年
には 75 歳以上の人口が 20%（2200 万人）にな

る事がシミュレーションされている。同時に、人口の減少が起き、人口問題研究所の報告によると、2030 年には約 1 億人になる事が示されている。この事によって、認知症高齢者の大幅増加が起こるとい事が、医科の先生方のデータにも示されている。また、1 人暮らしの高齢者は 2025 年には 4 割近くになり、夫婦のみ高齢者も 3 割近くになる事がシミュレーションされている。この事により、生活支援の必要性がおき、国の政策として、地域包括ケアシステムの構築が計画されている。このような状態では、終末期の医療費、介護、生活支援に関する費用が膨大になる事が予測される。また、医療・福祉の就業者を多くする必要も出てくる。しかし、2005 年の労働人口が 6540 万人だったものが、2010 年には 6240 万人と減少傾向を辿っている。したがって、歯科診療報酬に関する適正な評価はいつの時代になっても期待できない事になる。

さらに、歯科のような零細組織に良い人材が集まらない時代になる事が予測される。したがって、歯科医療提供に関しては省力化を始めとして、診療システムのイノベーション、開業形態の改革等が必要になるのではないだろうか。

また、女性歯科医が増加してくるので、産前、産後、育児休暇中の生活保障をどうするか等解決しなければならぬ課題が沢山ある。これらを解決するためには、疾病治療から、予防治療への変更が必要と考えている。同時に、生活習慣病予防が必要であり、その為には、良く噛むこと、口腔機能の維持が有益である事はエビデンスのある解決策である。また、介護予防には歩く、しっかり食べる、家にとじこもらない等が提唱されている。つまり、歯及び歯周組織の健康によって、生活習慣病や介護予防（生活支援等も少なくなる）が、可能である。今後は、虫歯が減少し、歯周病が多くなる事がシミュレーションされているので、つまようじ法等の普

及によって、歯周病が減少すれば、前述のポジティブな社会現象は解消される。歯科医療は、歯周病等の予防がメインであって、虫歯や欠損補綴はサブ的な存在になる事が望ましい。また、今後は歯科医療の多くは、口腔内科的な発想による歯科医療提供が主流になるものと思われる。

予防を中心とする歯科医療の提供は、市場を広げることになるので、現在の治療対象者は 130 万人といわれているが、その何倍にもなるはずである。ここで、予防で収入が入るのかという問題になるが、予防の提供は非常にバリエーションがあり、サプリメント等を含めた物販もあり、生活習慣病予防に対する指導管理等、継続的に通院する患者が増加してくるメリットがある。また、指導に当る歯科衛生士も、子育てが終わっても比較的簡単に復帰できる。女性歯科医師も同様に、子育てが終わってからでも予防であれば十分復帰できる内容である。比較的単純なスキルをマスターするのは、期間がかからないはずである。このように「予防」提供のプログラムが確立し、「予防」のビジネスモデルが出来れば多くの歯科医院は、流行る歯科医院になり、健全な歯科医院経営ができ、社会的な地位等も確保され、安定した生活が出来るようになるはずである。この「予防プログラム」には、「つまようじ法」は大変有力なスキル（エビデンスのある）になりうるものと思われる。国民に支持され、歯科界を救う「つまようじ法」の今後に期待したい。

永山 正人（ながやま まさと）

[略歴]

昭和 50 年 日本歯科大学卒

昭和 63 年 日本歯科大学博士課程修了（歯学博士）

平成 11 年 （国立）小樽商科大学院修了

（平成 23 年 商学博士）

平成 9 年 ～北海道医療大学歯学部非常勤講師

（歯科医療管理学）

平成 24 年～医療法人ファミリー会 永山ファミリー歯科
クリニック 理事長

平成 24 年～日本歯学大学客員教授

平成 24 年～日本歯科医療管理学会会長

診療室訪問 No.13

若林歯科医院



所在地:岡山県倉敷市幸町 14-27

チェア: 3 台

スタッフ:Dr 2 名、DH 3 名、受付 1 名

診療時間:9~12 時、14~19 時

(土午後は 17 時まで)

休診日:水、日、祝祭日

外来患者数:1 日約 25 名

「若林歯科医院」は、JR倉敷駅から東に1kmほどの場所に 2002 年に開設された診療所です。院長の若林元先生、若林由紀先生やスタッフの皆さんにお話を伺いました。

ブラッシングを主体とした診療所を

一つまようじ法を採用したきっかけを教えてください。

院長 開業当初から、ブラッシングを主体とした診療所をやりたいと思っていたんです。私は岡大にいたときにつまようじ法は知っていたのですが、以前は別のブラッシング方法に取り組んでいました。ところが、あまり効果が上がっていませんでした。そこで、改めてつまようじ法を勉強して採り入れてみようと考え、渡邊先生に実習に来ていただいたりしてスタートしたのが 3 年程前です。今が一番患者さんもついてきていますし、歯周組織の状態を見ても治療効果は上がっていると思います。



一具体的な診療の進め方などお聞かせください

院長 初診の患者さんでも当院ではほぼ例外なくブラッシングから始めます。もちろん応急処置はしますが、ブラッシングが大事だということを患者さんに伝えて、先ず歯科衛生士に術者磨きを

してもらいます。その後、ブラッシング指導をします。例えば補綴を行うにしても、歯肉の状態がある程度改善しないと基本的には印象はしません。私は当たり前のことだと思っていますが、一般的には当たり前ではないような気がします。

私は治療が終わってからメンテというやり方は絶対にダメだと思っています。中には当院のスタイルが合わないと感じて来られなくなる患者さんもいますが、意外とそのうち戻って来たりします。他院に行って、やっぱり違うというのが分かるのでしょうか。

つまようじ法を本格的に採り入れたのは最近ですが、ブラッシングが大切だという考え方は 20 年前から変わっていません。ブラッシングで始まってブラッシングで終わるといえるのか、そこがダメだったら何をやっても上手くいかないと思うんです。

メンテナンスには 1 時間枠を取っています。チェアが 3 台しかないですし、もう少し短い時間でやったほうが効率は良いと思うのですが、患者さんの満足を考えるとやはり 1 時間は必要です。チェア 2 台をメンテに使っていますが、特に夕方と土曜日は予約が取りにくい状態になっているのが悩みです。

お口の健康ネットワークの認定を取らせていただいた歯科衛生士 2 人は本当によくやってくれています。患者さんへの対応も非常に良くこれか



らも頑張っただけなんですけど、ちょうど 2 人とも今年結婚しました。そろそろ新しい歯科衛生士も育てないといけないかもしれません。

私は歯科衛生士っていい仕事だとずっと昔から思っているのですが、現実には衛生士の仕事を辞めてしまう人が多いですね。看護師は結婚や出産をしても復帰する人が多いことを考えるととても残念です。

由紀先生 やる気のある歯科衛生士さんも多いと思うのですがその人たちのやる気を削いでいるのは私達歯医者かもしれません。結局歯科衛生士さんにちゃんと仕事してもらわないと、歯医者の仕事は成り立たないと思います。

患者さんの利益を第一に

院長 当院では、少なくとも患者さんの不利益になるようなことはしていないと思います。最近では、患者さんとのトラブルは限りなくゼロに近いです。スタッフにも、とにかく患者さんの立場に立って考えよう、自分がされて嫌なことはしないように、と言っています。私自身、患者さんが良くなるのが嬉しいし、良くなると申し訳ないという気持ちで診療しています。

初診で来られる患者さんを診ていると、時々かわいそうに感じてしまうような状態の方がおられます。いままで通われていた歯科医院でブラッシングとかメンテナンスをやっていたというにもかかわらず、です。逆に、歯医者は何年も行ってなかったという人のほうがよっぽど歯が良かったりします。長年やってくると、いじればいじるほど悪くなるというのがよく分かってきました。歯はできるだけいじらないのが一番いいと思います。点数はあまり上がりませんが（笑）。

由紀先生 メンテに来られている患者さんのキャンセル率は電話を含めても 10%未満です。また、継続来院されている患者さんは抜歯になる確率は非常に低いと思います。削らずに済んだ、抜かずに済んだ、抜髄せずに済んだというのをもっと評価されるような仕組みがあってもいいのでは

ないでしょうか。

院長 偉そうなことを言えば、歯医者は国民のためにやろうという気概が必要です。技術よりも何よりも、まずは患者さんを大事にするという気持ちを持って、これからも 10 年、20 年とやっていきたいと思います。

歯科衛生士さんの声

長野 奈美 さん

つまようじ法は効果が早く出る方法だと思います。1 回目は患者さんもとっつきにくいところがあったり、感想を聞くと中には痛がられる方もいますが、出血の量が減ったり、患者さん自身が良くなったことに気付くと、いい方法だと確信してもらえます。そうすると患者さんは継続して来られますし、状態が悪くなることも少ないです。

佐藤 みどり さん

当院にお世話になる前から、つまようじ法は知っていましたが、積極的には行っていませんでした。慣れるまでは力が入りすぎてよく筋肉痛になりましたが、患者さんの歯肉の状態がよくなってくるとだんだん自信がついていったのを覚えています。



左からDH長野さん、DH佐藤さん、受付福島さん、由紀先生、院長先生

若林 元 (わかばやし はじめ)

1965 年 岡山県に生まれる
 1989 年 大阪歯科大学卒業
 1993 年 岡山大学大学院歯学研究科博士課程卒業
 1993 年 岡山大学歯学部文部教官助手
 (歯科補綴学第一講座)
 1997 年 若林歯科医院 勤務 (倉敷市阿知)
 2002 年 若林歯科医院 開設 (倉敷市幸町)

●活動報告

予防歯科臨床セミナー(2日コース)

日時:平成 25 年 4 月 20 日(土) 15:00~19:00

21 日(日)9:00~15:00

会場:国際ファッションセンター(東京)

参加者数:1 日目 30 名、2 日目 28 名

■講師

pmj 歯科診療所 黒瀬真由美

小畑歯科医院 小畑文也



予防歯科臨床セミナー(2回コース)

2 回目(応用編)

日時:平成 25 年 6 月 23 日(日) 10:00~16:00

会場:千里ライフサイエンスセンター(大阪)

参加者数: 36 名

■講師

pmj 歯科診療所 黒瀬真由美

小畑歯科医院 小畑文也



予防歯科臨床セミナー(2回コース)

1 回目(基礎編)

日時:平成 25 年 6 月 9 日(日) 10:00~16:00

会場:千里ライフサイエンスセンター(大阪)

参加者数: 31 名

■講師

pmj 歯科診療所 黒瀬真由美

小畑歯科医院 小畑文也



◎セミナー受講者のアンケートから・・・

●つまようじ法の導入で、リコール率のUP、患者さんの増加が著明であったことに、予防・ブラッシングの効果が感じられた。ブラッシングの実習では、やはり自分で磨けていない所をブラッシングされることの気持ち良さを実感できました。(DH)

●つまようじ法を始めて、もう何年も経ちますが、毎年参加する度に、歯ブラシの毛先の角度や動かし方、細かいところを指摘して下さるので明日からの診療に役立てていきたいです。(DH)

●症例写真や、資料があることでとてもひきつけられました。今年からDHになった私にとっては、ブラッシングでここまで効果が得られるんだ!と思いました。将来的には、訪問や、特養のケアを行いたいという気持ちが強かったんですが、更にその意識が高まりました。(DH)

渡邊先生の訪問実習受講者のアンケートから

- 目的を明確に何回でも同じように伝えることの大切さを実感しました。理念をスタッフと共有するためのコミュニケーション技術と時間が不足しています。もっと先生のお話を聞きたかったです。実際と歴史を含めて。(Dr)
- 歯間部にブラシの毛先を入れる量と入れる方向がとても参考になりました。今までは、ただ入れればよいと思っていたので、毛先の角度(近心と遠心を

意識すること)は、なるほど！と思いました。動きが早いのに、確実に歯間部に入っているのが良く分かりました。(DH)

- 先生のおっしゃっていた、病気を治すのをスタートとするのではなく、健康を増進させるのをスタートとしたいという考えに共感しました。まだブラッシングは上手くないですが、実習でアドバイスされたことを考えながら実行していきたいと思います。(DH)

●事務局からのお知らせ**●今後の行事日程**

| H25年 月 日 | 内容 | 開催地 | 講師等 | 時間 (予定) |
|-----------|-----------------------------|-------|----------------|-------------------|
| 9/8 (日) | 第 10 回 理事会 第 5 回 通常総会 | さいたま市 | — | 9 : 00 ~ 12 : 00 |
| | お口の健康ネットワーク講演会 | | 小島 理史 山本 龍生 | 13 : 00 ~ 15 : 30 |
| 10/20 (日) | 予防歯科臨床セミナー 2 回コース (1 回目) | 東京 | 黒瀬真由美 小畑 文也 | 10 : 00 ~ 16 : 00 |
| 11/10 (日) | 予防歯科臨床セミナー 2 回コース (2 回目) | | | 10 : 00 ~ 16 : 00 |

●認定歯科衛生士証の再発行について

認定歯科衛生士証を発行させていただいている方で、ご結婚等で姓が変わられた場合は、会員登録内容を変更の上、再発行することが可能です。ご希望の方は事務局までご連絡ください。楯の製作費用は初回同様 5,000 円となります。

●ポスターについて

ポスター「プロの歯磨き体験しませんか」の残り枚数がわずかとなり、一部内容を変更して再制作する予定です。完成いたしましたら、会員医院宛に配布いたします。

(編集後記)

今年も折り返し地点を通過しました。当会も 7 月末で第 5 期が終了いたします。9 月の総会はさいたま市で行いますが、午後に同封のチラシの内容で講演会を行います。地元の歯科医師会のご協力もいただき、小島理史先生の講演、理事の山本龍生先生の講演を予定しています。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

(事務局 草野栄路)

お口の健康ネットワーク会報 No.17

2013 年 7 月 10 日発行

発行：NPO 法人お口の健康ネットワーク

〒700-0953 岡山市南区西市 541-1

TEL. 086-244-4692 FAX. 086-244-1351

<http://www.oral-health-network.jp>

(facebook ページも開設しました)

会員専用サイト：<http://www.ohn-member.com>

E-mail：info@oral-health-network.jp